

福島・山形で防災訓練

ミキサ車2台派遣

福島工組 消火用水を供給

福島県生コンクリー 福島県総合防災訓練に
ト工業組合（永田茂男 会長）は2日、田村
2台を派遣した。防災
車運動公園で開かれた
訓練は県と田村市、郡

山地方広域消防組合消
防本部が主催したもの
で、約1200名が参
加した。

同工組は今年3月に
県と「災害発生時にお
ける消火水等の供給支
援に関する協定」を締
結。これに基づいて、
防災訓練に参加した。

今回の防災訓練では
「林野火災防ぎよ」を
想定し、ミキサ車で現
場に設置された簡易水
槽に消火用水を供給し
た。

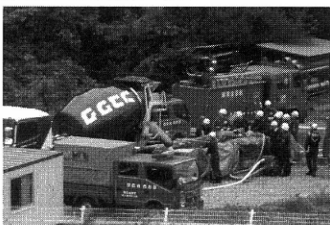
生コンと圧送が連携

山形市放水訓練に参加

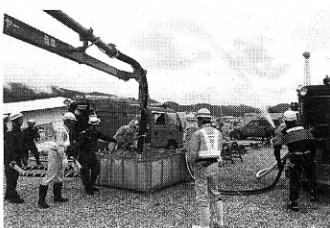
山形市が1日に総合
スポーツセンター駐車
場で開いた総合防災訓
練に、山形中央生コン
クリート協同組合（渡
邊英一理事長）と山形
県コンクリート圧送協
会（佐藤隆彦会長）が
合同で参加した。コン
クリートミキサ車が運
んだ水をコンクリート
ポンプ車が簡易水槽に
圧送し、その水で放水
訓練を行った。

西組合と山形市は昨
年7月、災害支援協定
を締結している。これ
を受け、山形市消防本
部は今年度から3者合
同の連携放水訓練を実
施した。山形中央協組

の渡邊理事長は「ミキサ車は生コンを輸送し、ポンプ車は生コンを圧送する。その両車が災害時には水を輸送できることの有効性をPRできた」と述べた。圧送協会の佐藤会長は「全国でも初となる3者連携の訓練となった。是非、他の地区でも同様の連携を期待したい」と述べた。



簡易水槽に消火用水を供給



生コンとポンプが連携した初の訓練